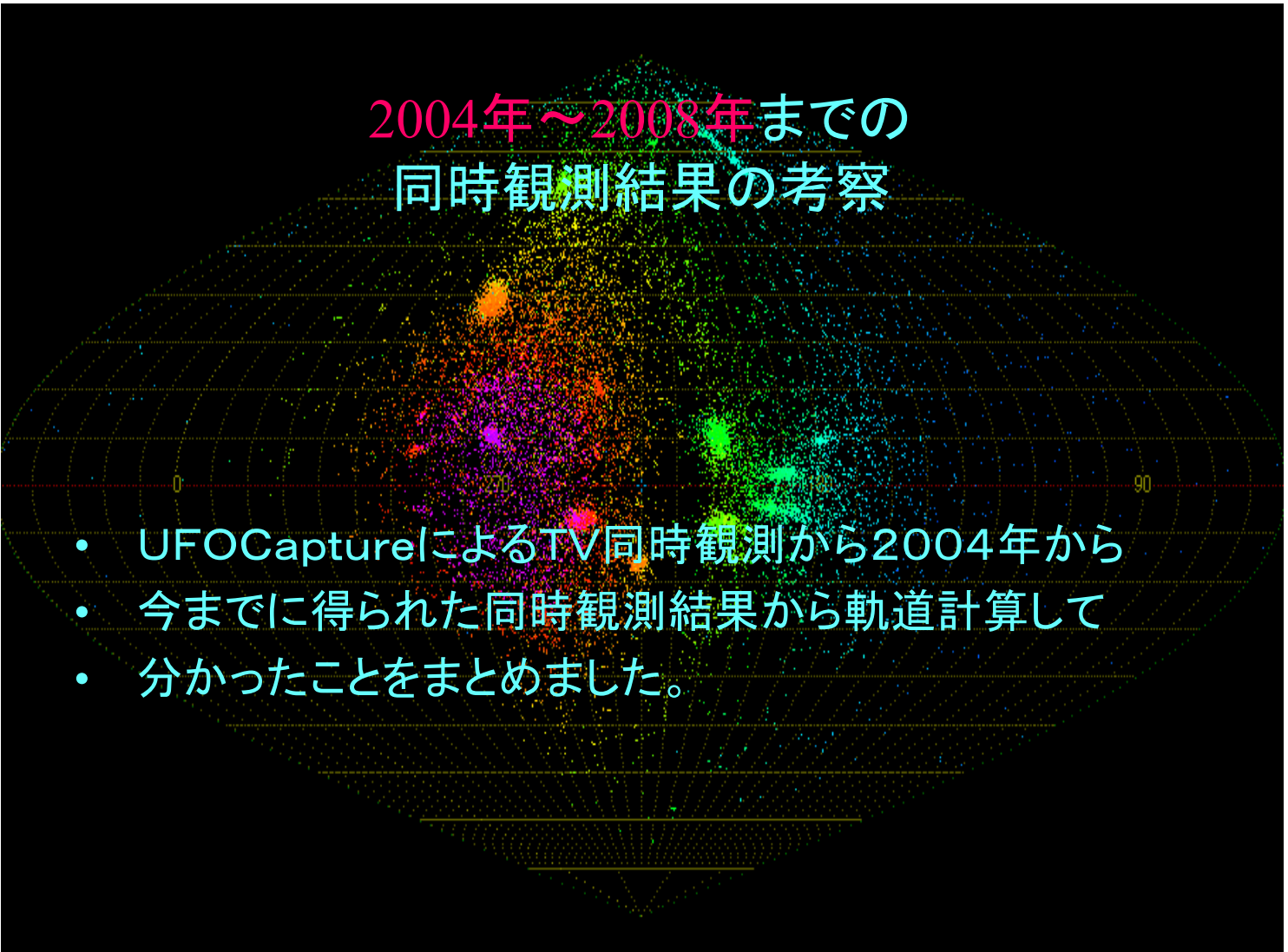
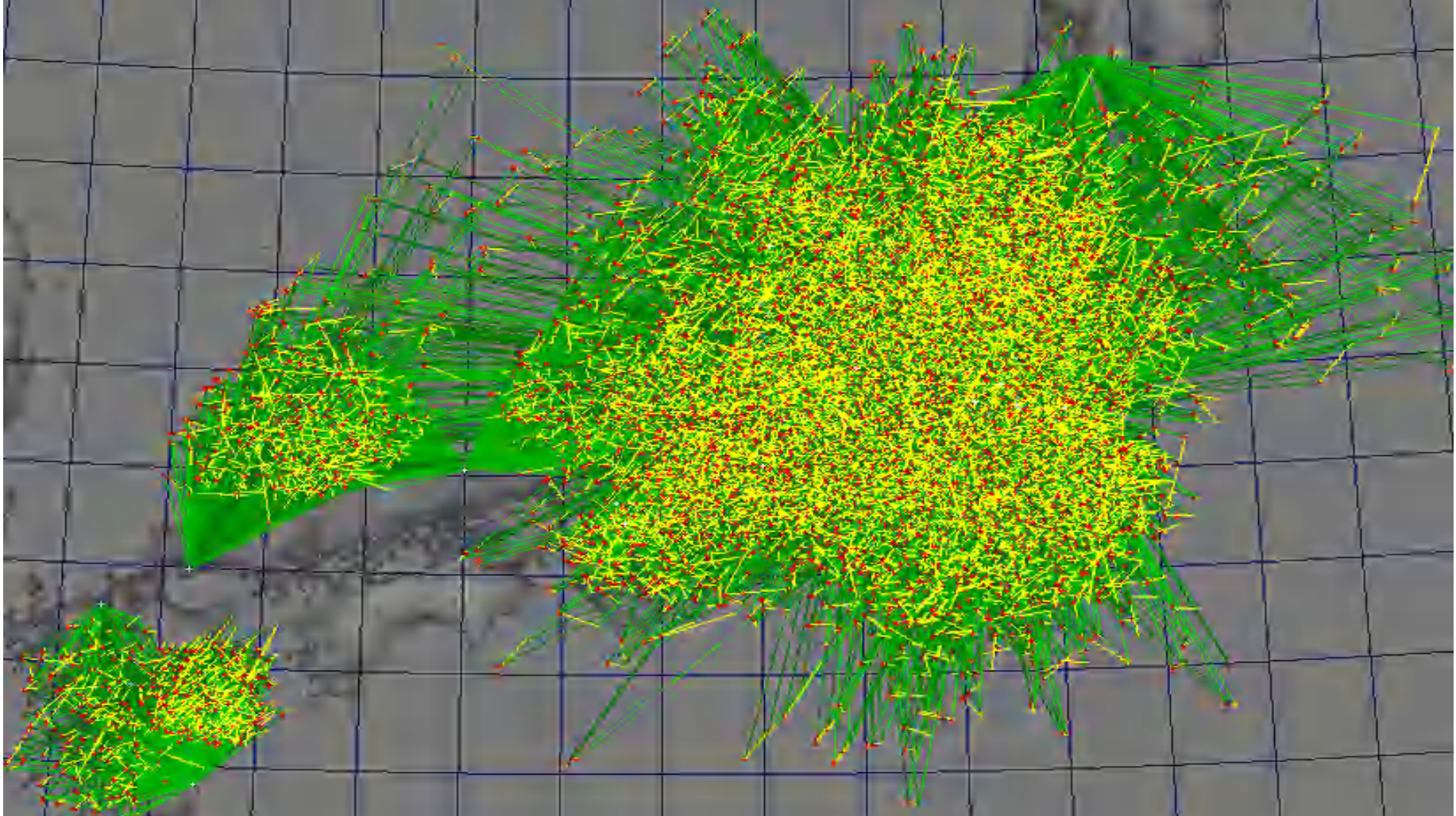


The background of the slide is a dark space filled with numerous small, multi-colored dots representing stars or celestial objects. A grid of thin, light-colored lines is overlaid on this field, consisting of concentric arcs and straight lines that intersect to form a coordinate system. The dots are primarily yellow and orange, with some green and blue ones scattered throughout.

2004年～2008年までの 同時観測結果の考察

- UFOCaptureによるTV同時観測から2004年から
- 今までに得られた同時観測結果から軌道計算して
- 分かったことをまとめました。

Allチェックの1／tのグランドマップ



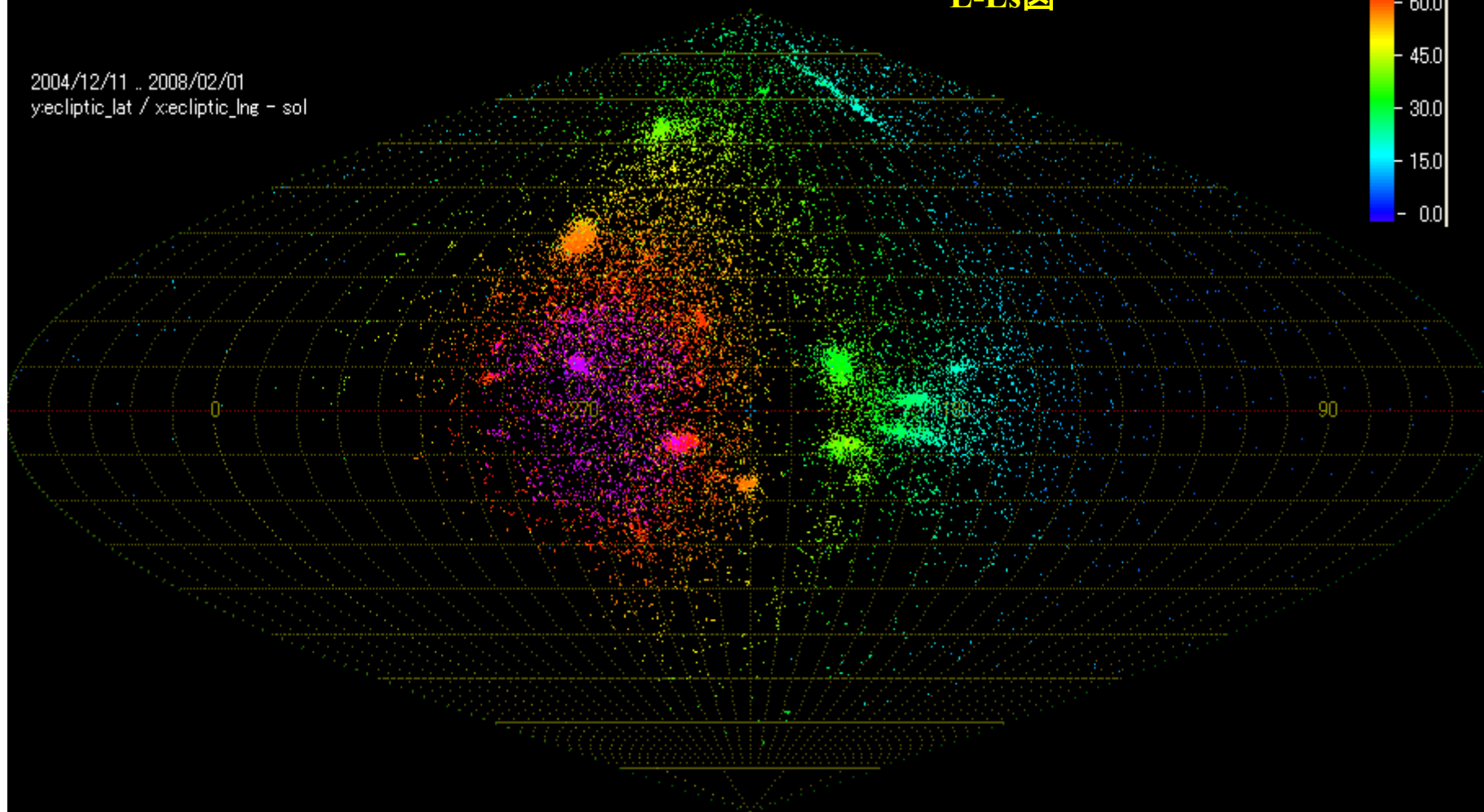
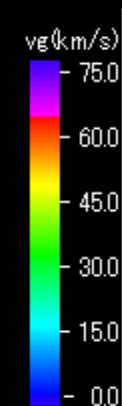
関東と関西と中部地方は、ほぼ網羅されている。中国地方と九州地方もカバーできている。あと、北海道と東北と四国を

Allチェックの1／tの輻射点分布図

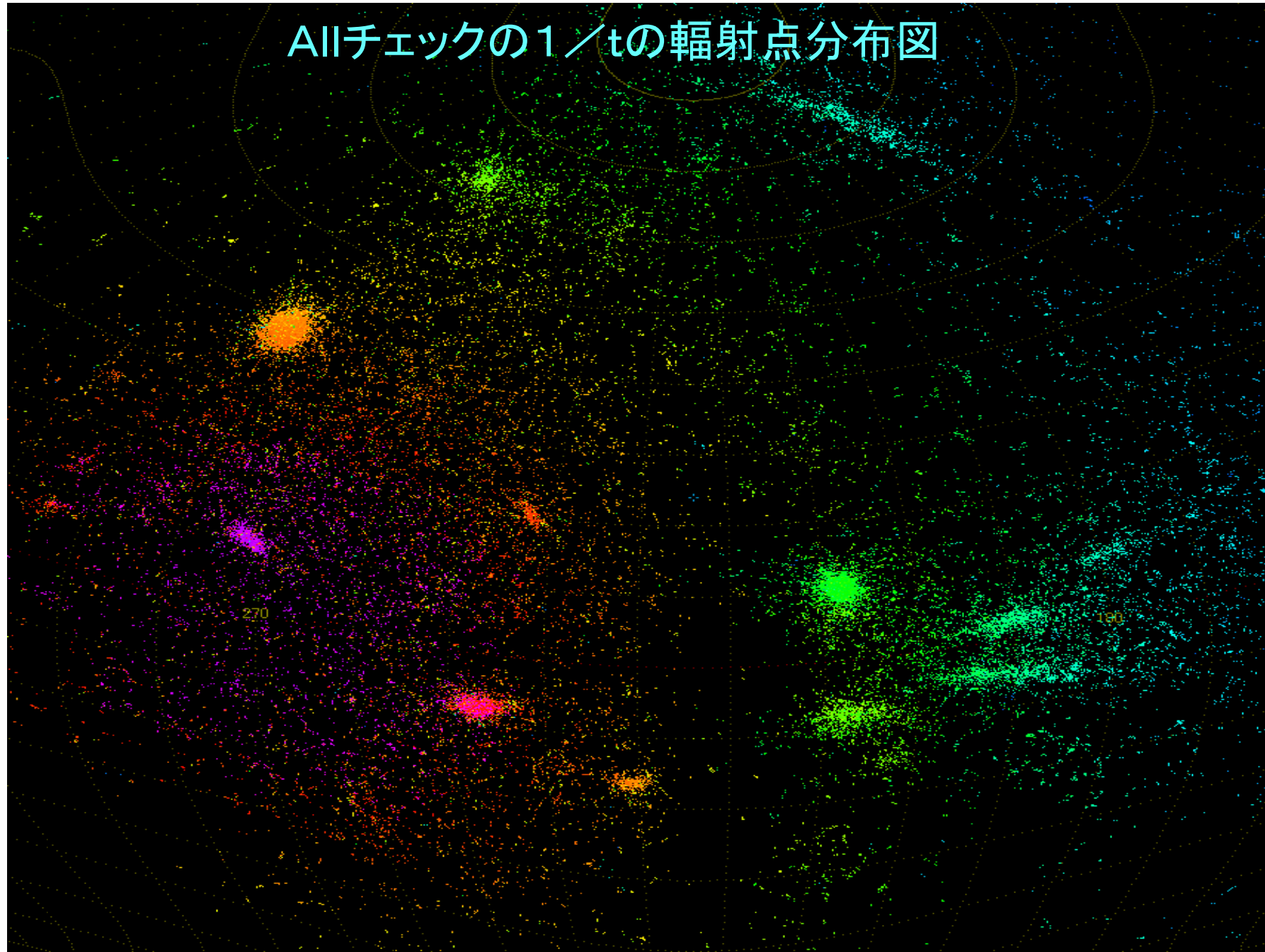
allチェックで隙間が見えてくる。

L-Ls図

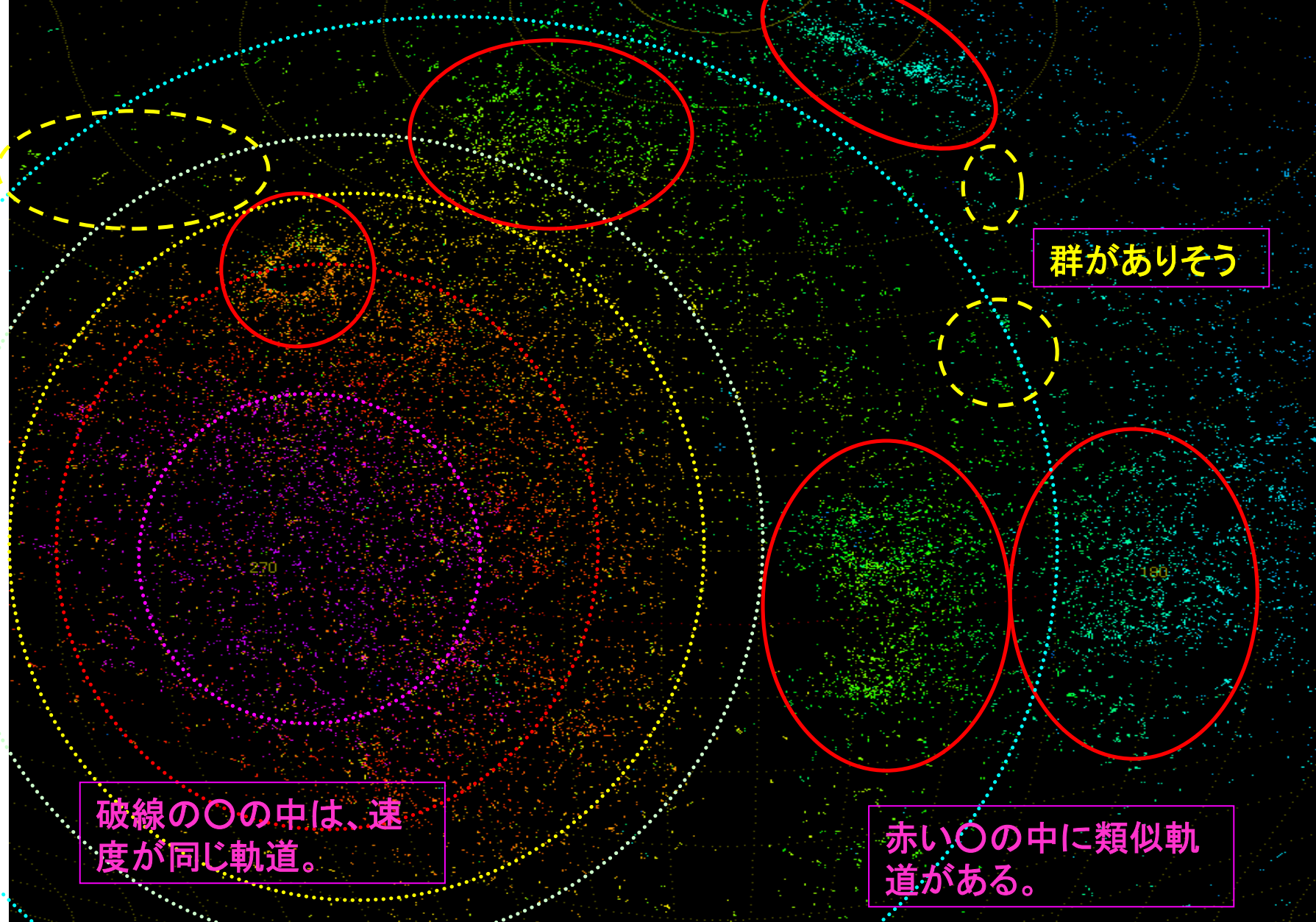
2004/12/11 .. 2008/02/01
yecliptic_lat / xeccliptic_lng - sol



Allチェックの1/tの輻射点分布図



Allチェックの1／tの主流星群を除いた散在の輻射点分布図

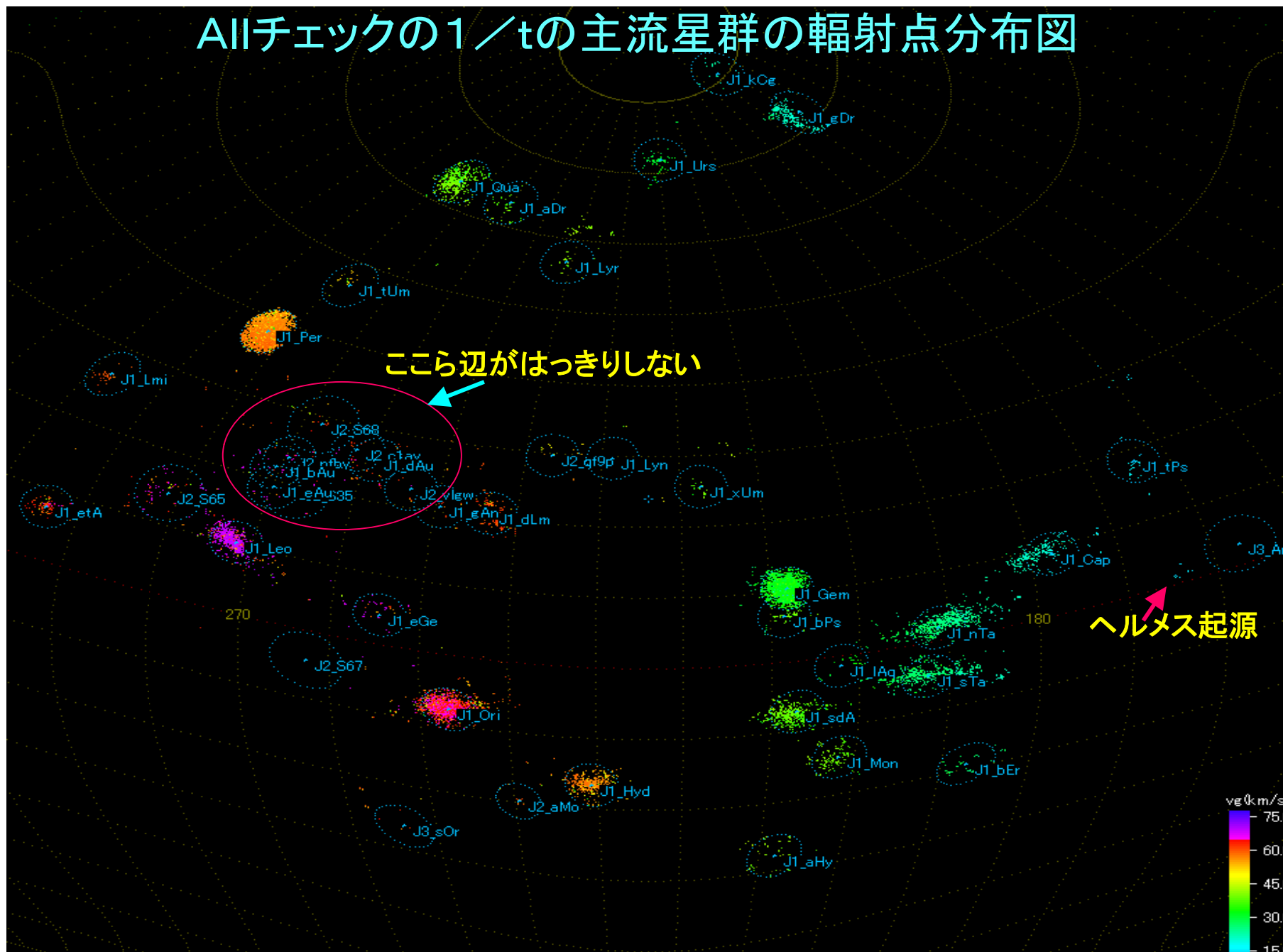


群がありそう

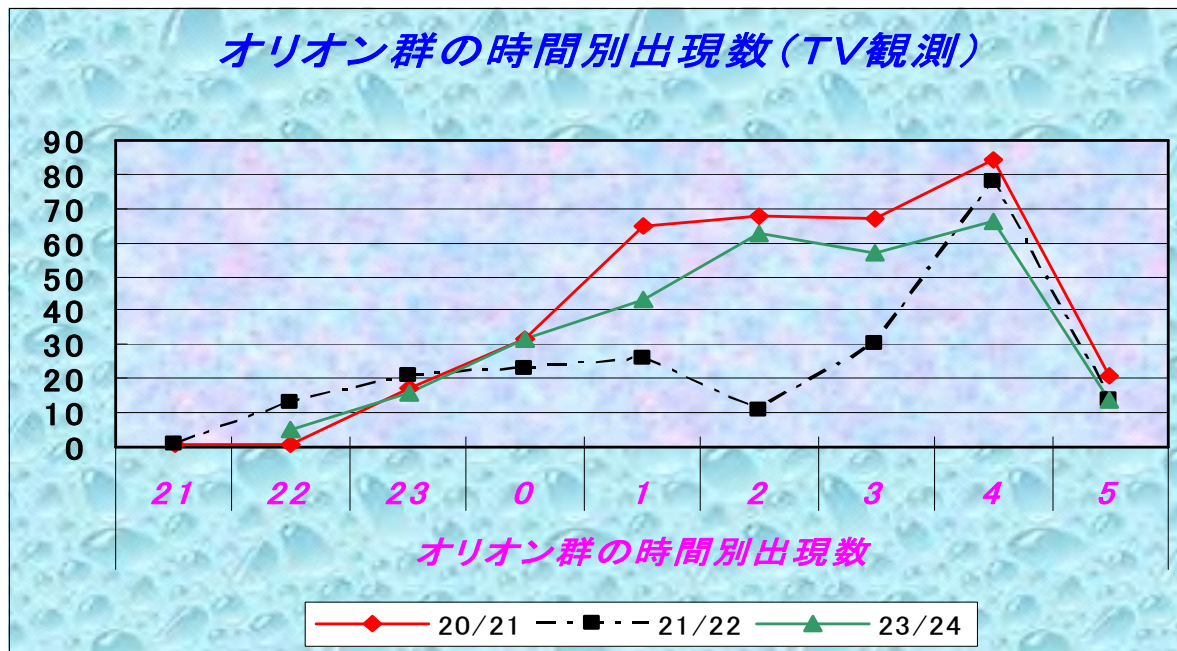
破線の○の中は、速度が同じ軌道。

赤い○の中に類似軌道がある。

Allチェックの1/tの主流星群の輻射点分布図



2007年のオリオン群の出現グラフと光度分布



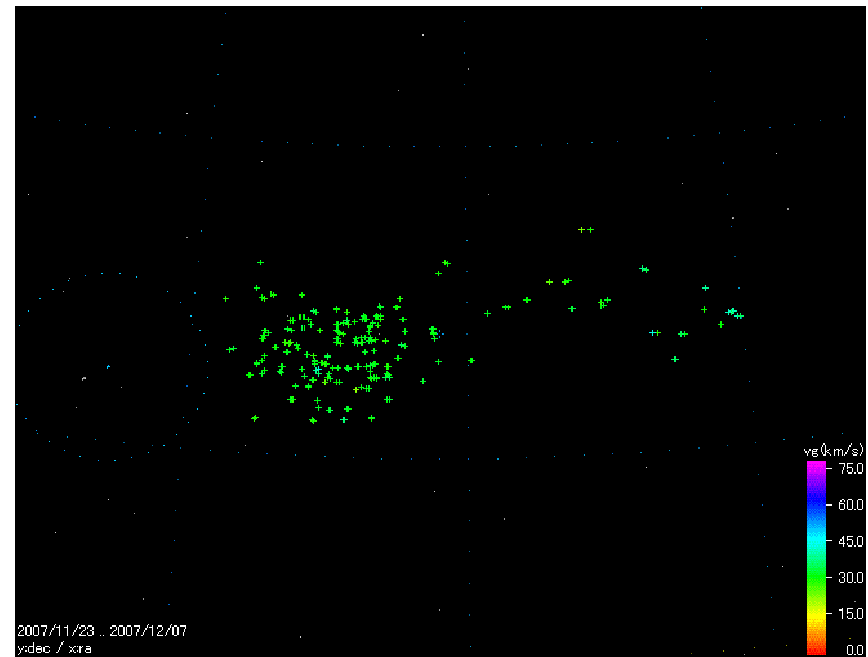
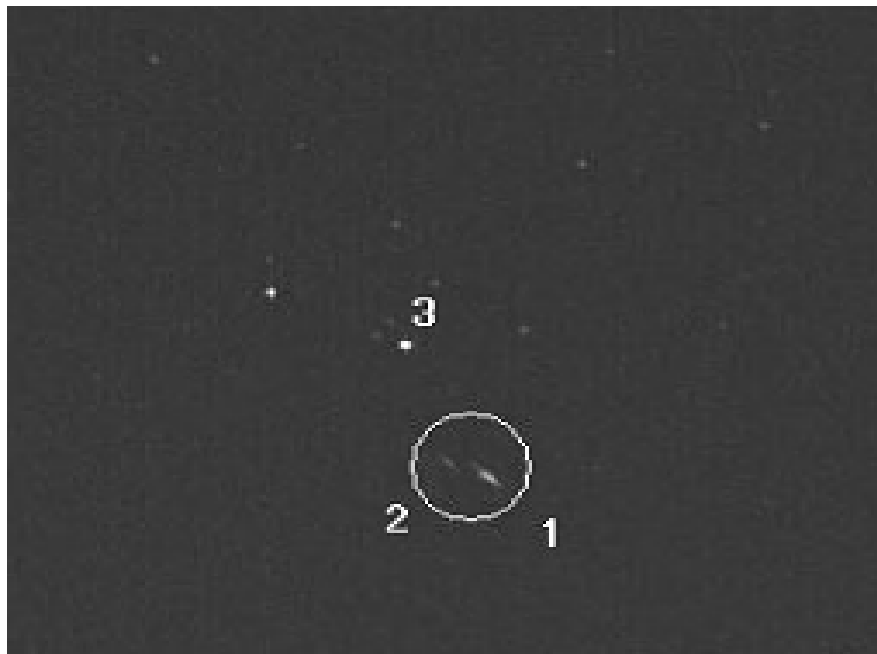
2007年のオリオン群は、やはり活発な活動を示した。20/21日は、暗い流星が多かった。21/22日は、0時～3時まで雲が流れていたのもっと活動していたものと思われる。22/23日の結果が思わしくなく極大が上手くつかめなかった。

オリオン群の日付別光度分布												
	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	合計
5/6							2	2	1	1		6
6/7					1	1	3	2	1			8
7/8								2				2
10/11				1	1	1	3	2				8
17/18			1		1	6	15	10	2			35
20/21		1	0	3	23	73	102	104	46	4	0	356
21/22				11	46	50	60	44	6			217
22/23	1	1	3	8	19	24	20	10				86
23/24				10	36	82	87	62	18	1		296
24/25			1	6	21	38	46	26	4			142
28/29					5	7	6	7				25
29/30				1	4	10	11	15	4			45
31/01			1			3	9	3				16
合計	1	2	6	40	157	295	364	289	82	6	0	1242

2007年のふたご群の出現状況と突発



今年のふたご群では、左の火球のみでした。あと、14日の1時10分に3つの突発がありました。しし群の時のようにふわぁーと広がっていくようでした。残念ながら動画は削除してしまいました。11月23日から12月7日までの輻射点の移動は、下のようになっています。



こぐま流星群の輻射点分布図

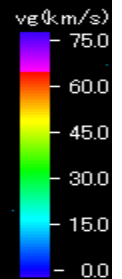
12月上旬に活動しているのは、別群なのではないでしょうか？。輻射点移動が見られると言えそうですが。1個だけ下旬にも同時になっています。

12月21～23日前後

12月2/3日前後

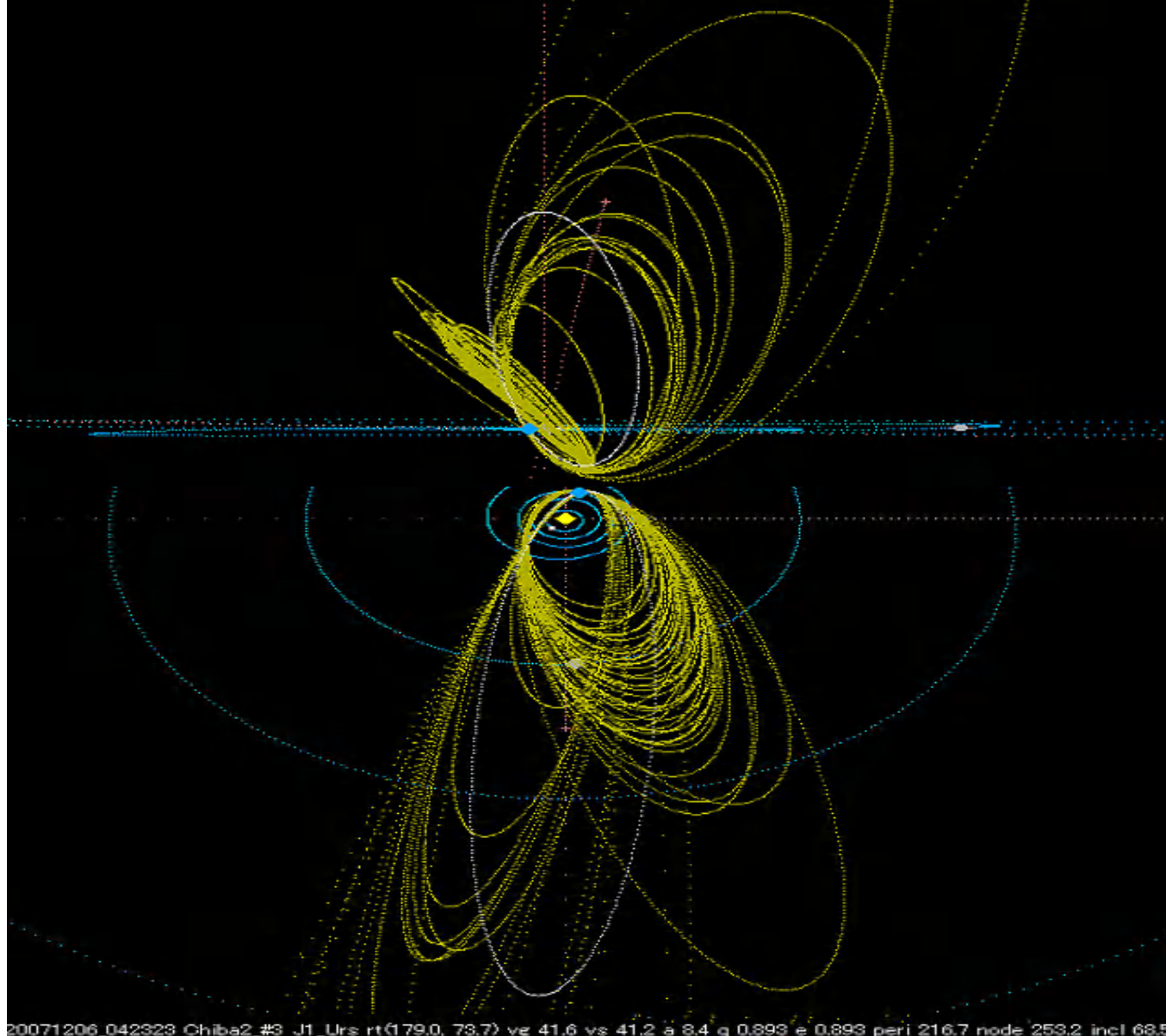
12月30日前後

12月7～20日前後がない。



20071206_042323 Chiba2_#3 J1_Urs rt(179.0, 73.7) vx 41.6 vs 41.2 a 8.4 q 0.893 e 0.893 peri 216.7 node 253.2 incl 68.5

こぐま流星群の軌道図



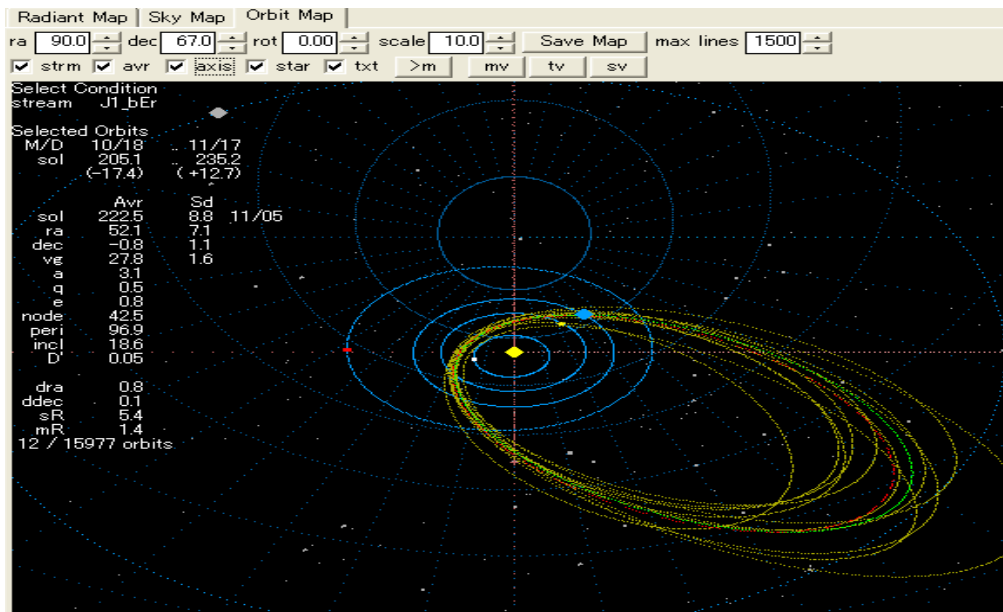
下の図から明らかに別群のようにも見えるが、活動期間が長くなると軌道が変化していくのか？

また、上の図からは、軌道が変化していくようにも見えるが2つの群にも見える。

重野氏の流星群カタログでも軌道の変化が激しいものがある。

β Eri流星群の軌道一覧

No	_localtime	_sol	_amag	_ra_t	_dc_t	_vg	_a	_q	_e	_p	_peri	_node	_incl	_mag
1	20071024_212151	210.6	-1.4	43.4	-4.8	28.7	3.1	0.46	0.85	5.6	99.4	30.6	21.2	-0.6
2	20071028_004959	213.7	0.3	44.6	-1.7	28.0	3.0	0.46	0.85	5.2	99.7	33.7	18.1	0.7
3	20051102_050857	219.4	1.1	51.5	-1.9	29.2	3.3	0.45	0.86	5.9	100.2	39.4	21.2	2.0
4	20061105_023842	222.1	-0.9	51.6	-2.2	26.7	2.8	0.50	0.82	4.6	95.5	42.1	18.9	-0.5
5	20061105_221051	222.9	-0.1	52.1	-2.2	26.4	2.7	0.51	0.81	4.4	94.9	42.9	18.6	0.6
6	20051106_022442	223.3	0.5	51.9	0.1	28.0	3.5	0.48	0.86	6.6	96.0	43.3	17.8	2.0
7	20071108_012709	224.8	-1.3	54.9	0.1	29.6	4.1	0.46	0.89	8.3	98.2	44.8	20.0	-1.0
8	20071108_012722	224.8	-1.6	54.8	0.0	28.8	3.5	0.47	0.87	6.6	98.0	44.8	19.5	-0.6
9	20071108_014842	224.8	-1.5	56.6	1.4	30.4	3.8	0.42	0.89	7.3	102.7	44.8	20.5	-0.3
10	20061108_234215	226.0	-2.3	54.9	-1.8	25.8	2.5	0.52	0.79	3.9	94.6	46.0	18.4	-2.4
11	20051110_221529	228.2	-2.4	57.5	-0.4	27.2	2.8	0.49	0.83	4.8	96.4	48.2	19.0	-1.3
12	20061114_014140	231.1	-1.6	57.4	-0.3	25.2	2.6	0.54	0.79	4.3	91.2	51.1	16.7	0.0
13	20071117_014324	233.8	-0.1	60.2	0.6	27.4	3.8	0.52	0.86	7.4	91.5	53.8	18.1	0.0
14	20071117_031212	233.9	-2.2	61.2	0.3	27.6	3.6	0.51	0.86	6.8	92.8	53.9	18.9	-1.0
15	20071117_214929	234.7	-0.3	60.7	2.4	22.3	1.9	0.56	0.70	2.6	93.4	54.7	13.6	0.2
	平均	220.7	-0.5	51.3	-1.2	28.4	3.3	0.47	0.85	6.1	98.3	40.7	19.5	0.3



2007年までに20個の同時がある。10月24日～11月20日頃まで活動していて輻射点の移動がよく見られる。軌道も比較的よく拾っている。